

学校評価シート（学校関係者評価）

（評価対象年度：令和6年度）

学校関係者評価委員会：令和7年2月26日（水）10：00～11：30

出席者

評価委員：小学校長1名 自治会長1名 保護者代表2名
法人学園本部（陪席1名）
園長 主任2名（計8名）

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

適切である。

園の特色を出した目標「心をつなぐ歌声のひびく幼稚園」は、わかりやすくよい。

2. 評価結果の内容は適切であったか

適切である。

子どもが、家で、声高らかに歌いきれいな声になってきた。

「心をつなぐ歌声のひびく幼稚園」に近づいてきていることを感じる。

製作等、様々なことへの関心意欲が高まってきており3年間の成長を感じる。

園の特色が出ていることはよい。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

子どもたちの個に応じた教育の充実及び、保護者の様々なニーズへの対応について課題として設定されている。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

取り組むべき課題について、個に応じた教育の充実のための研修の実施、個別のケースの相談会の実施、サポート保育士の増員等の対策を講じており、成果が上がっている。

様々な保護者のニーズについては、今年度より主任を2人、副主任1人を配置し、きめ細かい対応を行っている。

また、今年度より保育者体験を開始し、年間28人の保護者（パパ・ママ先生）に参加いただいた。

「たくさんのお子さんがおり、決められた時間の中で、性格の違う子どもたちに伝え方を工夫しておりとても大変だと感じた。もっとたくさんの方に体験していただき、日々の先生のしてくださっていることや大変さも感じ取ってもらい、幼稚園の先生と保護者の私たちがもっと協力できるようになればよいと感じた。本当に先生たちへの感謝があふれた一日でした。」等の感想をいただいた。

5. その他の意見・感想等

「教材の準備等も大変であり努力よくわかる。」「地域行事の協力を感謝する」等のご意見をいただいた。

記載責任者 霞ヶ関幼稚園園長 小川直美

令和6年度霞ヶ関幼稚園自己点検・自己評価（集計・考察）回収率 100%（30人）

R. 7. 2. 26

評価A:よくできている 評価B:ほぼできている 評価C:あまりできていない 評価D:できていない

教育目標・学校評価

■ 評価A:よくできている ■ 評価B:ほぼできている ■ 評価C:あまりできていない ■ 評価D:できていない

⑦ 学校関係者評価委員会の評価結果を園運営に反映しているか。



⑥ 地域や保護者の意見を園運営に反映しているか。



⑤ 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。



④ 目標は、前年度の反省を生かしているか。



③ 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。



② 目標は、園や地域の特色を生かしているか。



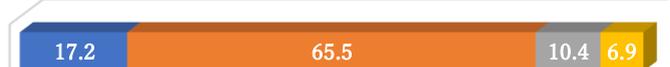
① 教育・保育目標の具現化に向け、幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。



組織運営

■ 評価A ■ 評価B ■ 評価C ■ 評価D

④ 教職員相互が全体的立場を理解し、協力や助言により園の運営に関わっているか。



③ 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。



② 係や仕事の分担・割り当ては適切か。



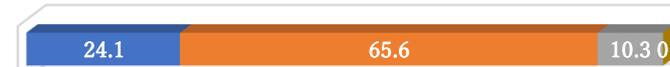
① 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。



教育課程・指導

■ 評価A ■ 評価B ■ 評価C ■ 評価D

⑤ 評価結果を基に、指導の改善に努めているか。



④ 教材、教具を適切に活用しているか。



③ 環境の構成を意識した指導の方法や、過程を常に工夫しているか。



② 幼稚園教育要領に基づく指導援助を適切に行っているか。

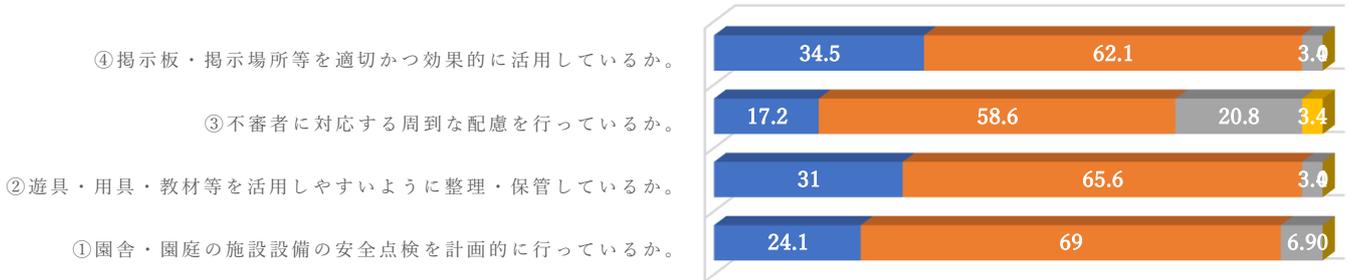


① 指導計画は、幼児の実態に即して作成しているか。



教育環境整備

■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D



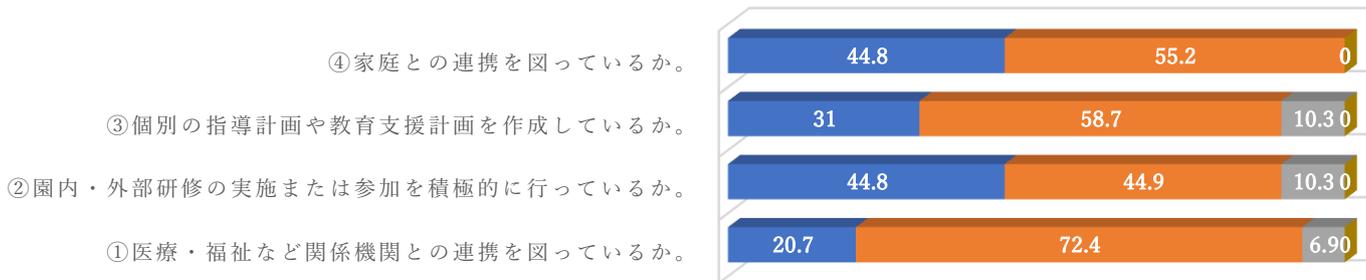
保健・安全指導

■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D



特別支援教育

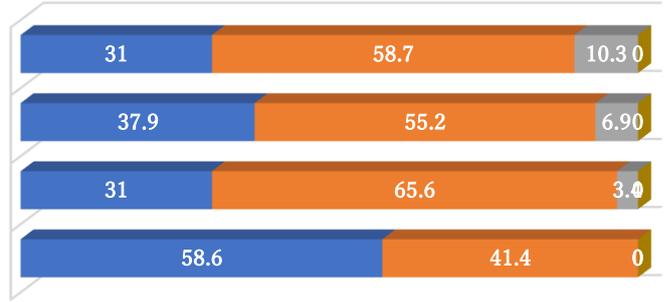
■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D



研修（資質向上の取組）

■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D

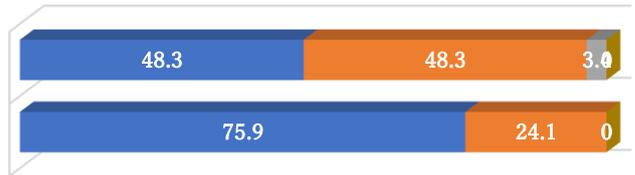
- ④ 各種研修会、講習会の内容を園内に還元しているか。
- ③ 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。
- ② 研修の成果が日常の保育に生かし、幼児の育ちに反映されているか。
- ① 園内研修が計画され、適切に運営しているか。



情報提供

■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D

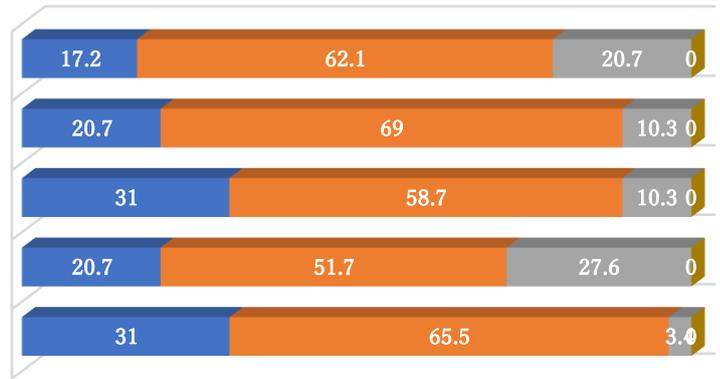
- ② 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や他校種に対して周知しているか。
- ① 園だより・学級通信・ホームページ等で園の情報を発信しているか。



保護者・地域住民との連携

■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D

- ⑤ 日常的に情報を交換し、それを交流活動に活かしているか。
- ④ 他校種との年間交流計画は、教育・保育目標や課題に添ったものになっているか。
- ③ 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。
- ② 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。
- ① 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。



子育て支援

■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D

- ④ 3歳未満の子をもつ保護者の子育て支援を行っているか。
- ③ 子育て支援に関する講演の実施や、情報の発信を行っているか。
- ② 園庭・保育室等を開放しているか。
- ① 教職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。



預かり保育

■ 評価 A ■ 評価 B ■ 評価 C ■ 評価 D

- ③ 幼児の負担や、家庭との連携に十分な配慮を行っているか。
- ② 園運営や教職員の配置に応じた預かり保育を行っているか。
- ① 保護者の実情や要望を把握したうえで、預かり保育を行っているか。



記述 (抜粋：主なもの)

◎大変良い評価 ○よい評価 □提案を含む課題 ▽課題

- ◎先生達は子ども一人一人の様子を把握し適切かつ優しく指導していてとても素晴らしい。
- 保護者が担任に信頼を寄せていることがよくわかる。子どもの1日の様子をお伝えする等で安心していると感じる。また、遅番の先生方へも保護者の信頼の厚さを感じる。
- パート職員が増えバスや預かりを担当してもらい担任の負担軽減されたことはありがたい。
- 保護者からの要望すべてに答えることは非常に難しいが、出来る限りの意見を取り入れ、より良い園にしようと努力していると思う。
- 1号認定園児の減少が課題である。「働き方改革」のもと、保育の質の低下には、影響しないようにしたい。子どもたちにとって「これでいい」ではなく、「これがいい」という保育を皆で考え取り組むことが必要かと思う。
- バス当番の時など挨拶を元気にできたらよいと思う。挨拶の態度で相手に気を使わせてしまうこともあるかと思う。
- 相手の気持ちを思いやる気持ちのよい職場とし、社会人としての振る舞いをしてほしい。
- 話し合いの際、意見しやすい雰囲気づくりを心がけていきたい。
- 後輩の職員が相談しやすい雰囲気づくりを目指したい。
- 個々(家庭)への対応は必要だが、個別に対応が違うと、迷ってしまう事が多く、保護者への対応に悩んでしまう事が多々ある。園での決まり事を明確にして職員全体での共通理解(正職、パート)が大切だと考える。
- 2号認定が増え、今まで通りに実施できなくなった行事等の内容を検討・変更したり、2号認定の保護者のご意見にお答えしてきている状況が多いので、1号認定の保護者の要望やご意見も聞く機会があるとよいと思う。
- アットホームな、温かい雰囲気幼稚園を保ち、みんなが穏やかに笑顔で過ごして行けるとよいと思う。
- 2号認定の園児が増える中でも、できる限り幼稚園としての魅力を大切にした園運営を継続していけたら良いと思う。
- 決まったことを伝達する職員会議だけではなく、職員全員で話し合える機会もあっても良いのではないかと思う。

▽2号認定の園児が年々増加し保育を希望する家庭が増えていることは充分承知しているが、保護者の仕事がお休みの日の早お迎え等の協力が得られないことも多い。

▽預かりの園児の増加、その他の業務も増え、定時に退勤することは年々難しくなっていると思う。

▽バス当番や預かりの業務は、パートを含め、職員の休みの場合のシフト変更が複雑になることがあるので調整がむずかしいことがあるので解決方法を考えたい。

▽職員同士が、立場をわきまえ、きちんとした挨拶が出来るような職場であってほしい。

挨拶や身なりはとても大切だと思う。また、パートの方たちにも感謝の気持ちも忘れてはならないと思う。

まとめ・考察

グラフの集計の数字は、A（よくできている）とB（ほぼできている）をあわせて、80パーセント以上であれば、細かい数字にとられる必要はない。

今後の課題としては、全職員が自分事として園運営を考えていくことができる職場としていくことが課題である。これはよくないという批判、こうしてほしいという他人事ではなく、改善のための策を自ら考えて発信して実践していくことである。

また、個人及び全体での研修の充実は、日々の保育実践の質を高めて、子どもの一人一人のよさを生かし大切に保育に直結する。

研修には、キャリアアップ、園内研修（AED、先生方が講師となる研修、ワタナベ学園の研修（夏期・冬期のテーマ研修）、自己研修（資質向上のための）、保育計画に基づく保育にかかわる直接の教材研修等々様々なものが含まれ、どれも大切なものでバランスよく進めたい。

園の研究紀要から、また、園内及びワタナベ学園の研究発表から、本園の先生方の研修の質の高さは誇れるものとする。

今後も全職員が自信をもち、かつ謙虚に、日々の研修・保育実践に取り組んでいてもらいたいと切願する。

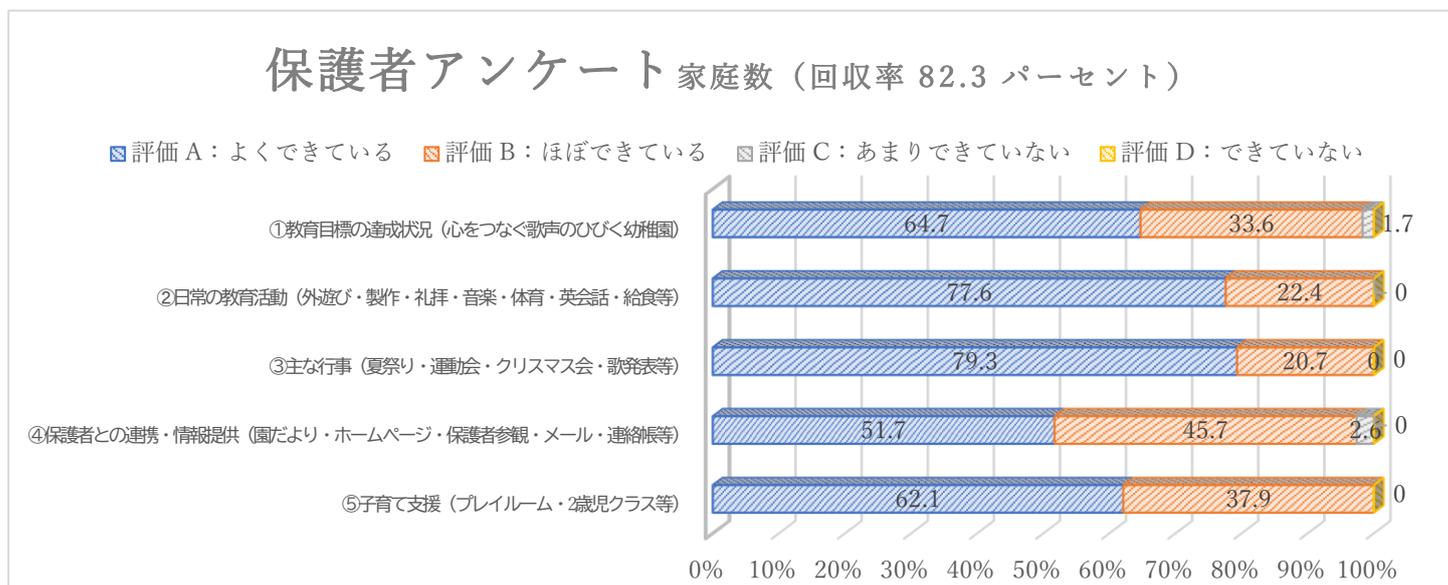
広い目 長い目 細かい目

細かいところに気づき改善することも必要、しかしながら細かいところのみ見ていると大きな流れを見失ってしまう場合もあります。

小さなところまでしっかりと見つめる目を大切にしながら、大きな心で、お互いのよさを認め合いながら前に進んでいくことを望みます。

令和6年度 保護者アンケートまとめ

◇保護者の皆様にもアンケートにご協力いただき、次のような集計結果となりました。



記述では次のようなご意見をいただきました。（抜粋）

○先生方のおかげで、毎日笑顔で通えていることに感謝しています。担任の先生だけでなく、いろいろな先生に子どもの名前を覚えてもらっていて、安心感があります。これからもよろしくお願ひします

▽仕事との関係があるため、行事の実施日等、考慮してほしい。

▽年間計画で預かりができない日、協力日等をもっとわかりやすく知らせてほしい。

▽お迎えの際の園駐車場について、台数が限られ大変混雑する為、駐車場利用の方はできるだけ速やかに移動してもらおうなど協力の声かけをするのはどうでしょうか。

「よくできている」「ほぼできている」合わせて、どの項目も90パーセント以上の結果でした。記述のご意見もいただき、過大な評価をいただいております保護者には感謝申し上げます。

また、園の説明がうまく伝わっていないケースもあり、今後さらに個々の状況に応じてお知らせしていくことの必要性を感じております。

園の対応としては、様々なことに気づく保護者の貴重なご意見としてアンケートを受け止め、子どもの安全と成長を最優先にトータルで次年度に生かせる内容であるかを全職員で考えていきます。

「保育者体験」「歌声講座」も下記のように好評で、今後も継続してまいります。

保育者体験

今年度からスタートいたしました保育者体験、年間で28名の皆様に参加いただきました。

登園から、給食終了までの時間をクラスに入り、パパ・ママ先生になっていただきます。

子どもたちの製作の活動等のサポートや子どもたちと一緒に遊んだり、絵本の読み聞かせや、紙芝居を担当して下さったりと、その日の行事や保育内容に合わせて過ごしていただきました。

お別れの時間になると別れを惜しむ子、中には泣いてしまって離れない子もあり、子どもたちに大人気のパパ・ママ先生です。

感想の一部を紹介いたします。

○貴重な体験をさせていただきありがとうございます。毎日安心して仕事に行かれるのは先生方のお陰と思っていましたが、半日の体験をしてその思いがさらに増しました。

たくさんのお子どもがおり、決められた時間の中で、性格の違う子供たちに伝え方を工夫しておりとても大変だと感じました。もっとたくさんの方に体験していただき、日々の先生の手を助けていたりすることや大変さも感じ取ってもらい、幼稚園の先生と保護者の私たちがもっと協力できるようになればよいと感じました。本当に先生たちへの感謝があふれた一日でした。

○子どもたちが親しくなってくれるので、自己肯定感がとても上がりました。

○子どもたちの体力は本当にすごいとおもいました。その子たちに毎日対応なさっている先生方の体力は、素晴らしいと感じました。

○クラスの友達やその中で我が子の姿を客観的に知ることができ多くの学びがありました。

○いろいろな子どもたちとゆっくり接することができ、子どもの可愛さに圧倒させられた。

○参観日と違い、本当にナチュラルな状態のクラスを見て体感することができた。

○先生がいかに子どもたちの安全確保に留意してくださっているか、また、体力も精神も心身共に消費する大変なお仕事なのかということがわかった。

体験にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

歌声講座（全9回）

昨年度からスタートした「歌声講座」、「心をつなぐ歌声のひびく幼稚園」を保護者・地域の皆様に一層ご理解いただき、音楽を通して交流できればという思いで実施いたしました。

2年目となった今年度、毎回20名前後の保護者・地域の皆様に参加いただき、季節の歌、童謡・唱歌、リクエストの曲、心にしみる歌等々、歌ってきました。毎回参加、ご都合のよい日に参加、お友達に誘われ初めて参加等、自由参加です。

みなさんの歌声が回を重ねるごとに充実し、すてきなハーモニーとなってきました。

「楽しい時を過ごすことができました。」「心が癒されました。」「皆さんと一緒に歌うことで恥ずかしさもなくなり声をしっかり出して歌えました。来年度も楽しみにしています。」「昔歌った歌も、歌詞の内容も知らずに歌っていたのだと思い、知識が増え得た気分です。」「本当につらいことがあったのですが、『いのちの歌』を聴き、前向きな気持ちになれた事が少しうれしいです。」等々、感想いただきました。